

Fill your tomorrow



2023年3月期 決算
中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II
(2023～2025年度)
説明会

2023年5月12日

新日本空調株式会社

【1】 2023年3月期 決算

1. 決算実績

2. 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase I (2020～2022年度) 成果

【2】 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II (2023～2025年度)

【3】 2024年3月期 業績予想

【4】 配当予想



- 世界経済は、ウィズコロナ社会への転換により、緩やかな回復が期待されたが、世界的な物価高や金融引き締めに加え、ウクライナ情勢の長期化や中国経済の一時的な失速などによって回復ペースは鈍化した
- 日本経済は、経済活動の正常化により内需は持ち直し傾向となり、製造業の設備投資は堅調に推移した。一方でエネルギー価格の高騰や円安による物価上昇など、景気の下振れリスクも懸念された
- 建設業では、都心を中心とした再開発などの不動産投資は堅調を維持した
- 資機材・労務費・運搬費の上昇傾向、技術者・技能労働者不足は継続した
- AIやIoTを活用した技術革新と、カーボンゼロへの対応や、デジタルトランスフォーメーション、働き方改革による生産性向上への取組みは不可欠となった
- 気候変動などの地球環境問題への配慮、人権の尊重、従業員の健康と労働環境への配慮や公正・適切な処遇、取引先との公正・適正な取引、自然災害等への危機管理など、サステナビリティを巡る課題への対応は、リスクの減少のみならず収益機会にもつながる重要な経営課題となった

1. 2023年3月期 決算実績 連結業績サマリー

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	前期比
受注高	103,254	116,197	130,869	12.6%
完工高	107,253	106,718	112,234	5.2%
完工総利益	13,917	14,546	15,676	7.8%
完工総利益率	13.0%	13.6%	14.0%	0.4%
営業利益	6,386	6,881	7,124	3.5%
経常利益	6,676	7,366	7,914	7.4%
当期純利益 ※	4,637	5,403	5,597	3.6%
繰越高	68,404	77,883	96,519	23.9%

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

1. 2023年3月期 決算実績

連結決算のポイント

- 受注は2期連続の前期比増
- 完工は4期振りの前期比増
- 利益面では、事業活動の活性化や人的資本への投資を拡大したものの、受注採算性の向上、原価低減活動の浸透、業務効率の向上効果などにより改善を維持
- 完工総利益、完工総利益率は、設立以来の最高値を更新
- 当期純利益は4期連続で設立以来の最高益を更新
- 繰越は2期連続の前期比増

1. 2023年3月期 決算実績 連結貸借対照表（要約）

【資産】 現金預金が94億3千7百万円増加、受取手形・完成工事未収入金等が5億7千4百万円減少
投資有価証券が7億1千万円増加

【負債】 支払手形・工事未払金等が12億8千8百万円増加、その他において未払消費税等が24億9千7百万円増加

【純資産】 株主資本において利益剰余金が38億4千7百万円増加
その他において有価証券評価差額金が4億7千3百万円増加

（単位：百万円）

資産の部	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比	負債・純資産の部	2022年 3月期	2023年 3月期	前期比
現金預金	15,566	25,004	9,437	支払手形・工事未払金等	30,357	31,646	1,288
受取手形・完工未収入金等	54,853	54,278	△574	短期借入金	4,144	3,433	△711
その他	2,919	2,247	△671	その他	9,432	13,538	4,105
流動資産 計	73,338	81,530	8,191	流動負債 計	43,934	48,618	4,683
有形固定資産	2,701	2,628	△73	固定負債 計	2,218	2,315	96
無形固定資産	703	1,062	359	負債 合計	46,153	50,933	4,780
投資その他の資産	23,222	23,924	701	株主資本	44,826	48,751	3,925
（投資有価証券）	(21,278)	(21,989)	(710)	その他	8,986	9,461	474
固定資産 計	26,627	27,615	988	純資産 合計	53,813	58,212	4,399
資産 合計	99,966	109,146	9,180	負債・純資産 合計	99,966	109,146	9,180

1. 2023年3月期 決算実績 連結キャッシュ・フロー

【営業活動によるC/F】 税金等調整前当期純利益 78億9千2百万円、売上債権の回収による収入 10億1千7百万円、仕入債務の増加額 12億2千2百万円

【投資活動によるC/F】 有形固定資産の取得による支出 2億1千7百万円、無形固定資産の取得による支出4億9千1百万円

【財務活動によるC/F】 短期借入金の返済による支出 7億円、配当金の支払額 17億4千9百万円

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	3ヶ年合計
営業活動によるC/F	1,917	7,004	12,820	21,743
投資活動によるC/F	309	414	△1,168	△444
財務活動によるC/F	△2,504	△4,413	△2,266	△9,185
現金及び現金同等物の期末残高	12,095	15,435	24,927	—

1. 2023年3月期 決算実績 分野別受注高

(単位：百万円)

			2022年3月期	2023年3月期	前期比
個別	国内一般	新築	44,176	41,197	△6.7%
		リニューアル	47,350	59,688	26.1%
	原子力		7,584	7,836	3.3%
個別受注高			99,111	108,723	9.7%
関係会社	国内		8,045	8,913	10.8%
	海外		9,040	13,232	46.4%
連結受注高			116,197	130,869	12.6%

【新築分野】 保健分野は再開発案件が堅調に推移、
産業分野は一部案件の期ズレにより前期比減

【リニューアル分野】 保健分野は大型官需と民需が順調に推移
産業分野でも好調に推移

【原子力分野】 新規規制基準対応や緊急時対策施設の案件が計画通りに進捗

【国内関係会社】 新日空サービス、日宝工業ともに計画通りに推移して前期比増

【海外関係会社】 中国、シンガポールは計画を上回る

1. 2023年3月期 決算実績 分野別完工高

(単位：百万円)

			2022年3月期	2023年3月期	前期比
個別	国内一般	新築	36,531	33,165	△9.2%
		リニューアル	47,990	54,072	12.7%
	原子力		7,528	7,942	5.5%
個別完工高			92,049	95,179	3.4%
関係会社	国内		8,007	8,071	0.8%
	海外		6,661	8,982	34.9%
連結完工高			106,718	112,234	5.2%

【新築分野】 保健分野は計画通り進捗したが、産業分野が減少して前期比減

【リニューアル分野】 保健、産業分野ともに高い水準で推移して前期比増

【原子力分野】 工事が計画通りに進捗して前期比増

【国内関係会社】 新日空サービス、日宝工業ともに計画通りに推移して前期並み

【海外関係会社】 中国は堅調に推移、シンガポールは大幅に回復

【1】 2023年3月期 決算

1. 決算実績

2. 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase I (2020～2022年度) 成果

【2】 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II (2023～2025年度)

【3】 2024年3月期 業績予想

【4】 配当予想



5つの基本戦略と主な取り組み成果

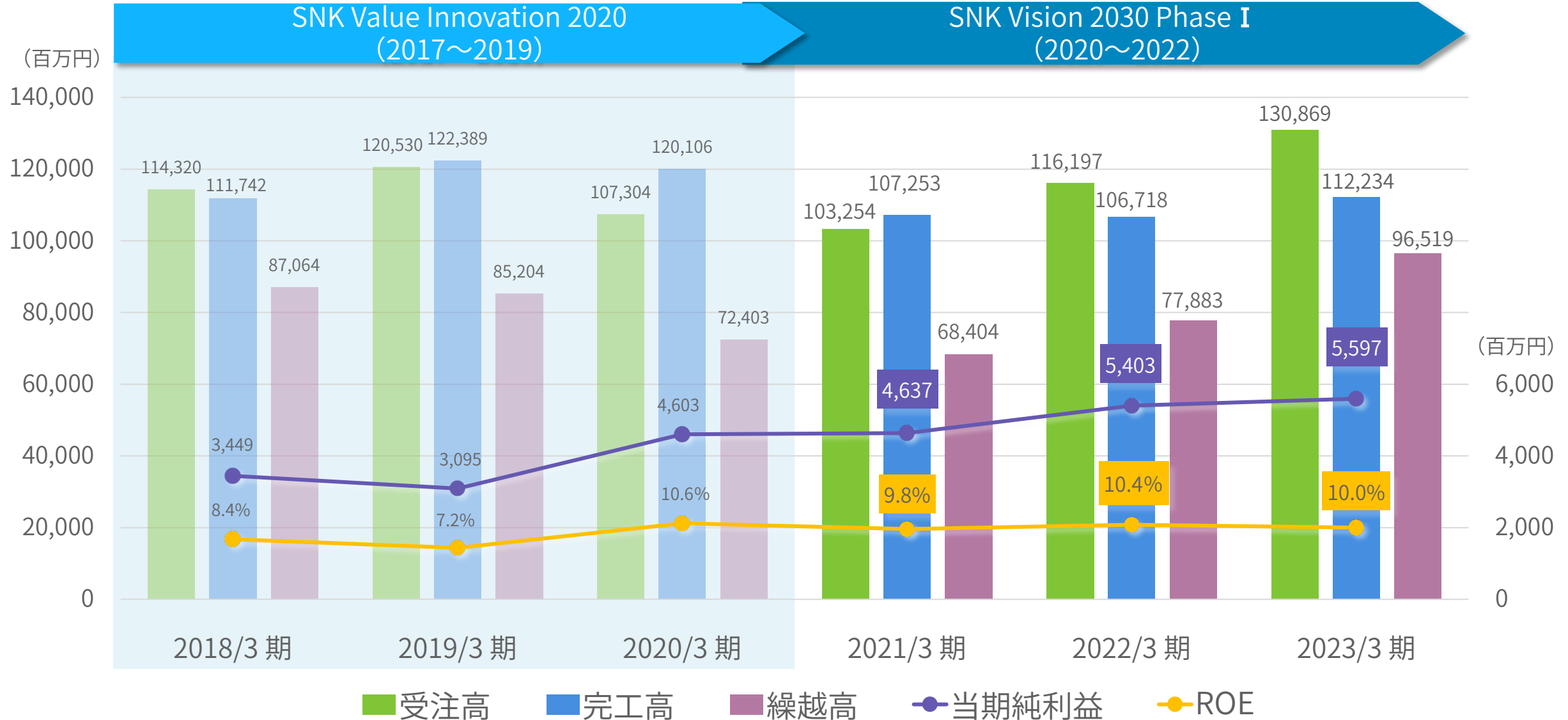
5つの基本戦略

主な取り組み成果

事業基盤増強 戦略	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 感染リスク低減への貢献 ➤ 省エネ、省CO₂への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ スタートアップ企業、関係会社との協業 ➤ 大学・研究機関との共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 太陽光発電事業への展開
収益力向上 戦略	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現場業務の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現場作業の省力化 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 微粒子可視化技術「ViEST®」の展開
デジタル変革 戦略	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 工事業務のデジタル化強化 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ DX推進体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 基幹システムの刷新
企業統治 戦略	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サステナビリティを巡る課題への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 脱炭素社会の実現に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ コーポレートガバナンス体制の強化
人的資本 戦略	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 多種多様、多才な人材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ダイバーシティ経営の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 健康経営®の推進

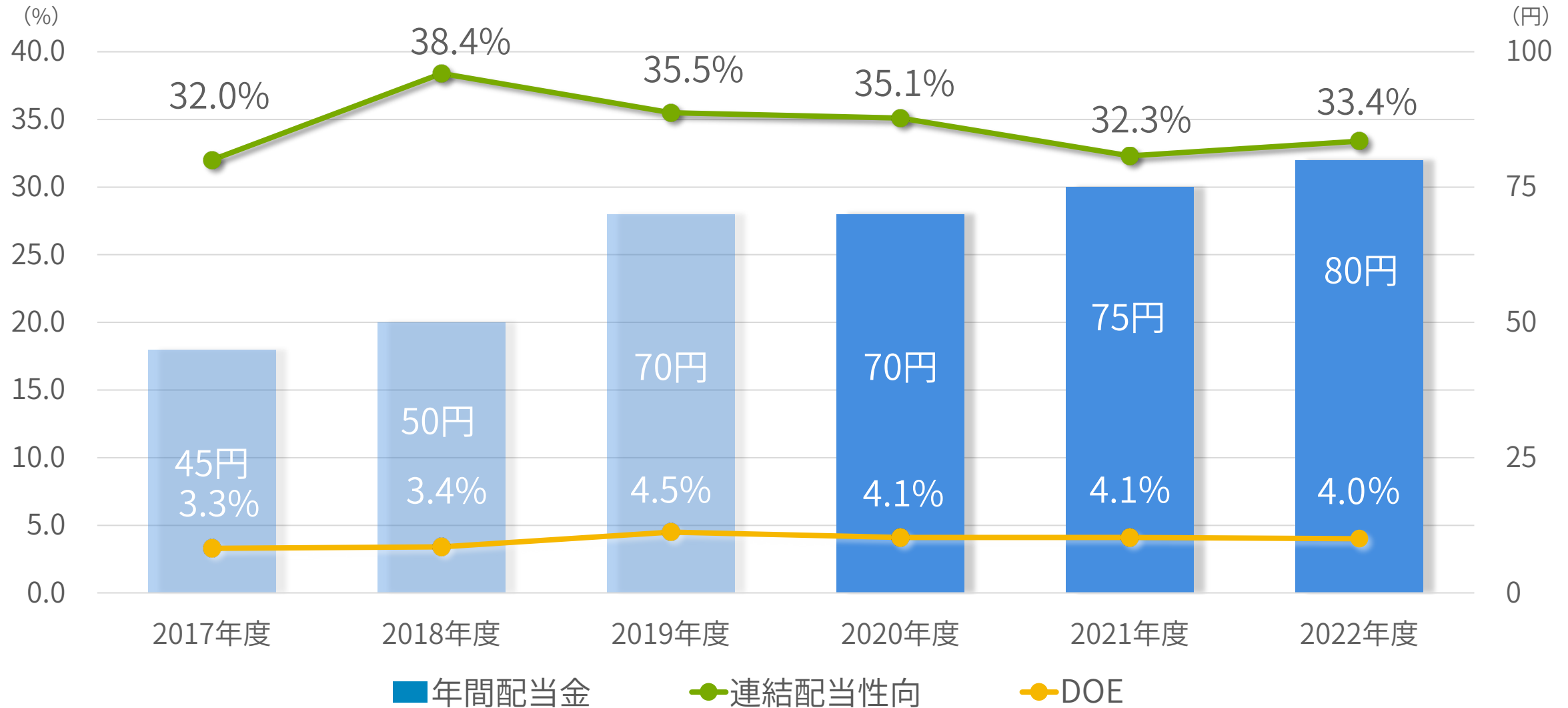
2.中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase I (2020~2022年度) 成果

2018年3月期からの業績推移



2017年度からの配当実績

連結配当性向 30% 以上またはDOE（株主資本配当率）3% を下限とする方針を定め、安定的な利益還元を実施



【1】 2023年3月期 決算

1. 決算実績

2. 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase I (2020～2022年度) 成果

【2】 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II (2023～2025年度)

【3】 2024年3月期 業績予想

【4】 配当予想



企業理念と10年ビジョン

企業理念
『使命』と『価値観』

使命

Fill your tomorrow

社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満たす。

価値観

調和、探求、真摯、絆

10年ビジョン 『SNK Vision 2030』

基本方針

新日本空調グループは、
持続可能な地球環境の実現と、お客様資産の価値向上に向け、
ナレッジとテクノロジーを活用するエンジニア集団を目指します。

5つの基本戦略

【事業基盤増強戦略】 【収益力向上戦略】
【デジタル変革戦略】 【企業統治戦略】 【人的資本戦略】

策定に至る経緯

環境ソリューションカンパニー

企業理念

Fill your tomorrow

社会と自然の調和を育み、
未来へ向けた思いを満たす。

使命

価値観

調和、探求、真摯、絆

2030年にありたい姿

2030年における事業規模 (目標)

事業規模 1,300~1,500億円

営業利益率 10.0%以上

ROE 10.0%以上

10年ビジョン「SNK Vision 2030」
5つの基本戦略

事業基盤増強戦略

収益力向上戦略

デジタル変革戦略

企業統治戦略

人的資本戦略

企業価値

「社会の持続性」と
「企業の持続性」の実現

Phase I

Phase II

Phase III

2020年度

2022年度

2025年度

2030年

未来

2030年にありたい姿

あらためて、2030年のありたい姿を具体的にイメージ

▶空調工事を核に、社会のニーズに応える技術力を持ち、地球環境維持へ貢献し続け、事業に活かされ、持続的に成長し続けている

▶No.1、Only Oneの技術が社内外に広く認知されている

▶ナレッジやテクノロジーが持続的に蓄積、継承され、スマートに活用され、新たな価値やサービスが社会に提供されている

▶個人の実績やスキルが把握され、人的資本経営に活用されている

▶社員の夢が、会社の使命やビジョンの達成に結びついており、ありたい姿の実現に向かって成長をつづけている

▶すべての社員の時間外労働が、「月45時間・年360時間」以下になっている

▶ダイバーシティが実現され、多様な価値観のもとに事業が運営されている

▶社会課題を解決する新たな基盤づくりに挑戦し続け、魅力や夢があり、人が集まる事業・技術が推進される企業風土となっている

▶社員は、社会課題解決やお客様資産の価値向上に結びつく役割に専念している

基本戦略と対処すべき基本課題

事業基盤増強戦略

当社の持続性を高める事業ポートフォリオの実現と新たな事業領域の展開による収益基盤の拡大を目指す。

【基本課題】

①

当社の強みの深化、差別化に資する
技術開発とブランディングの推進

- 優位分野の受注伸長 (CR、地冷、原子力、RN)
- 分野別横断チームによる優位性の確立・訴求

②

ワンストップ施工体制の拡大と
持続的なサービスの提供

- 設備工事一括受注に向けた体制強化
- 中長期保全計画のワンストップ提案強化
 - 新工法、新技術の採用による競争力強化

③

建物ライフサイクルを通じた
収益性評価による
ストックビジネスの推進

- 中長期保全計画を通じた省CO₂提案の強化
 - 国内関係会社との連携強化による周辺事業の拡大

④

社会の持続性に資する
ソリューションサービスの展開強化

- 微粒子可視化技術を核とするソリューションサービスの拡大
- クラウドを利用したサブスクリプション型省CO₂ソリューションの提供

基本戦略と対処すべき基本課題

事業基盤増強戦略

当社の持続性を高める事業ポートフォリオの実現と新たな事業領域の展開による収益基盤の拡大を目指す。

【基本課題】

⑤

社会の持続性を支える
成長分野・新エネルギー分野への
事業領域拡大

- ▶ 産官学、スタートアップとの
技術連携・共同研究強化
- ▶ 研究開発施設の拡充

⑥

海外事業の安定化を目指した
人員の拡充と
機動的な事業地域の選択

- ▶ アジア地域の未進出国への進出検討
- ▶ 国内外人材のローテーション、
キャリア採用強化

⑦

社会の持続性に資する
将来技術や新たな事業を創出する
イノベーション意識の醸成と
推進体制の整備・運用

- ▶ イノベーション推進組織の設立による
未来志向技術の検討

基本戦略と対処すべき基本課題

収益力向上戦略

現場機動力の増強と安全品質管理体制の強化および生産性向上により、事業収益力の向上を目指す。

【基本課題】

①

業務プロセスの効率的な見直しとプロジェクトの最適な業務仕分け

- 現場コア業務、店社業務、BPO仕分けの明確化推進と分業体制の確立
- 生産性向上とWLBの充実

②

サプライチェーンの持続性と現場プロセスの効率化を目指した構造変革の推進

- サプライチェーン・技能者維持のための投資
- パートナーシップ構築宣言と支払条件の見直し

③

SNK品質の提供と安全の確保によるお客様資産価値の維持向上

- ナレッジマネジメントシステムの活用推進
- ゼロ災活動・品質管理強化の継続推進

基本戦略と対処すべき基本課題

デジタル変革戦略

デジタル変革社会に即した高度情報活用の推進と業務機動性の更なる向上のために、デジタル情報の活用を推進し、デジタルトランスフォーメーション（DX）による新たな価値提供を目指す。

【基本課題】

①

すべての業務プロセスのデジタル化推進とナレッジを最大限に活用する
マネジメントシステムの構築と運用

- ▶ ナレッジマネジメントネットワークの構築による設計・施工業務の効率化

②

現場生産性、品質の向上を目指す
徹底した現場ICTの推進

- ▶ 施工管理アプリ、VR技術、デジタル工程表、BIMなどの実用拡大

基本戦略と対処すべき基本課題

企業統治戦略

持続可能な社会の実現と
ステークホルダーへの価値
提供のために、ESG経営の
推進とそれを支える
コーポレート・ガバナンス
体制の強化を目指す。

【基本課題】

①

サプライチェーン全体を通じた人権等、
サステナビリティを巡る課題への注力、
事業を通じたグリーントランスフォーメーション
(GX) の推進

- 設計提案、再生可能エネルギー導入によるGHG排出量2050年度ゼロ
- 人権DDの実施など人権リスクに対する積極的な取組み推進
 - 環境関連事業への投資

②

グローバルな情報開示枠組みへの
対応と積極的な社会との対話の促進

- SBT認証取得、ISSB開示基準対応、
TNFD賛同検討
- ICP導入検討

③

持続的成長を可能とする
コーポレート・ガバナンス変革

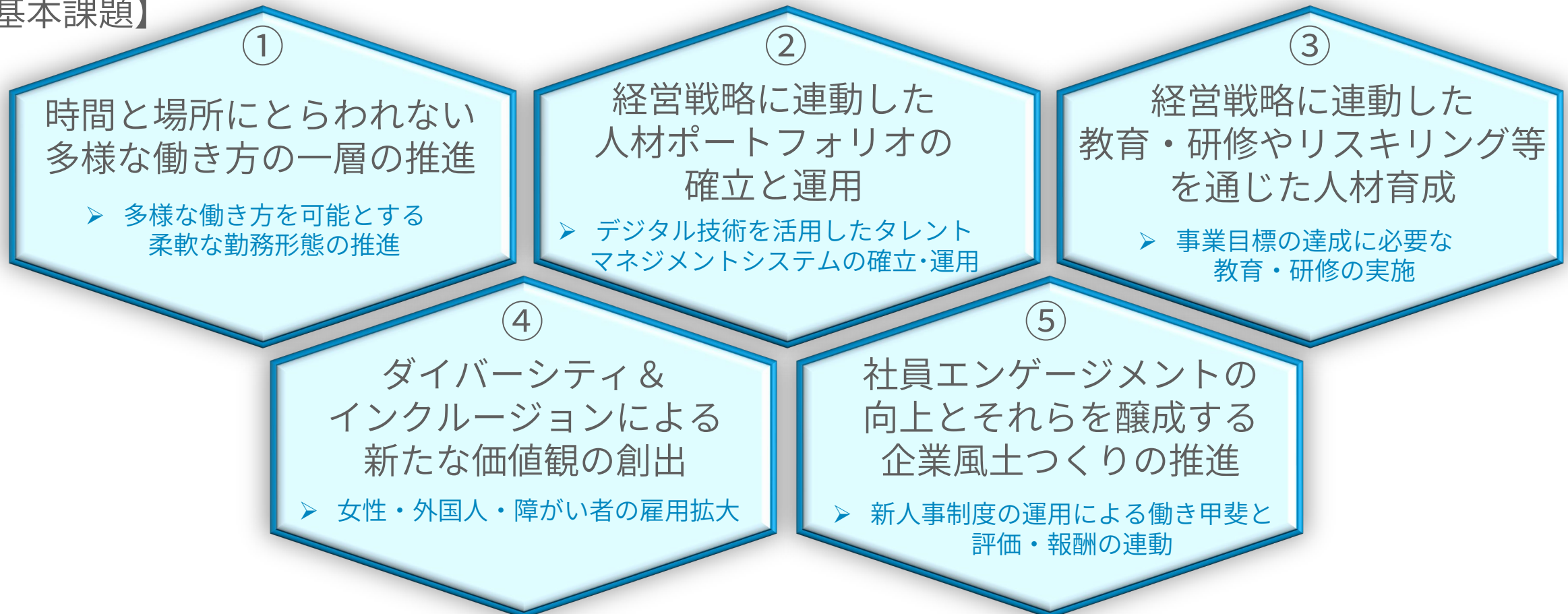
- 監査等委員会と連携したガバナンス強化
 - コンプライアンスの徹底

基本戦略と対処すべき基本課題

人的資本戦略

多種多様、多才な人材を有し、自己のキャリアプランと会社のキャリアパスを結びつけ、働き方改革を実現させる人的資本経営を推進する。

【基本課題】



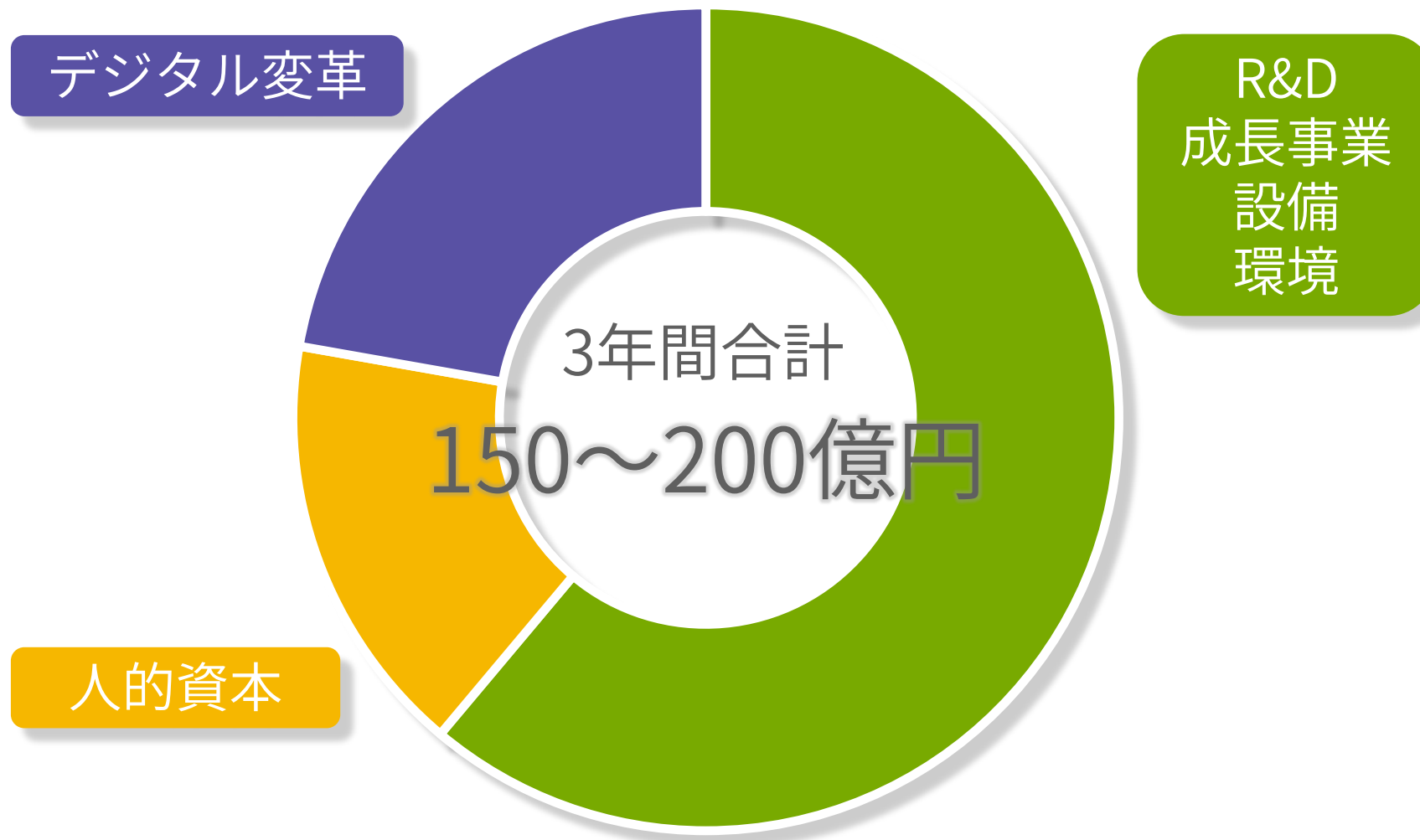
経営数値目標

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績		2026年3月期 目標	
受注高	130,869	—	135,000	—
完工高	112,234	—	130,000	—
営業利益	7,124	6.3%	9,000	6.9%
経常利益	7,914	7.1%	9,400	7.2%
当期純利益 ※	5,597	5.0%	6,600	5.1%
ROE	10.0%		10.0%以上	

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

将来の成長に向けて、3年間合計で150~200億円を投資

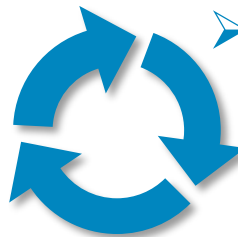
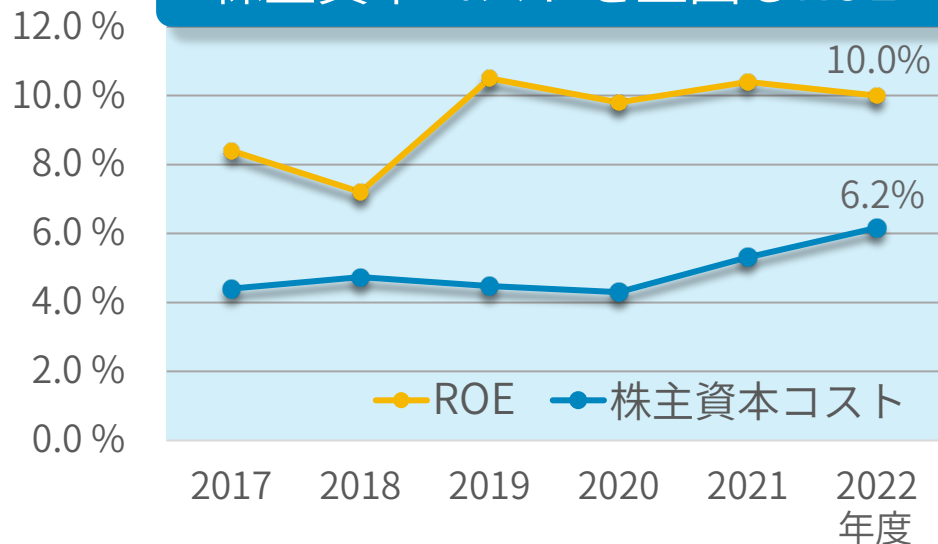


資本政策

【資本政策の基本方針】

当社グループの資本政策としては、利益・資本・リスクのバランスを考慮しつつ、財務健全性を維持しながら、株主資本コストを上回るROEを見込めるよう、資本効率の向上を図るとともに、R&Dや成長事業、設備、環境、人的資本、デジタル変革などへの投資を行いながら、利益や資本の水準に見合った株主還元を実現していくことにあり、この政策を通じて企業価値の向上を図ってまいります。

株主資本コストを上回るROE



➤ 資本効率の向上

➤ 投資

- ・ R&Dや成長事業、設備、環境
- ・ 人的資本
- ・ デジタル変革など

利益や資本の水準に見合った株主還元

企業価値の向上

資本政策

【政策保有株式に関する方針】

当社は、良好な取引関係の維持・連携強化を図るうえにおいて、当社の企業価値の向上を実現する観点から、必要と判断する企業の株式を保有することがあります。こうした株式の保有については、取締役会で個別銘柄ごとに保有目的、取引状況、保有リスクを勘案しつつ、便益性と資本コストを総合的に検証し、保有または売却の要否を判断しておりますが、今後2025年度末までには、2022年度末比で、20%の縮減を目指してまいります。

【株主還元】

当社グループは、株主の皆様に対する利益の還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、安定的に株主の皆様へ還元するため、株主還元に関する基本方針として、DOE（株主資本配当率）3% を下限とし、連結配当性向 30% 以上として還元してまいります。更なる株主還元については、今後の投資等を考慮しつつ、機動的に実施することとします。

【1】 2023年3月期 決算

1. 決算実績

2. 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase I (2020～2022年度) 成果

【2】 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II (2023～2025年度)

【3】 2024年3月期 業績予想

【4】 配当予想



(単位：百万円)

			2023年3月期 実績	2024年3月期 予想
個別	国内一般	新築	41,197	41,000
		リニューアル	59,688	54,400
	原子力		7,836	8,000
個別受注高			108,723	103,400
関係 会社	国内		8,913	8,600
	海外		13,232	13,000
連結受注高			130,869	125,000
(内、産業)			72,973	68,000

2024年3月期 業績予想 分野別完工高

(単位：百万円)

			2023年3月期 実績	2024年3月期 予想
個別	国内一般	新築	33,165	40,500
		リニューアル	54,072	55,200
	原子力		7,942	7,700
個別完工高			95,179	103,400
関係 会社	国内		8,071	8,600
	海外		8,982	11,000
連結完工高			112,234	123,000
(内、産業)			58,712	66,000

2024年3月期 業績予想 連結損益予想

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績		2024年3月期 予想	
完工高	112,234	—	123,000	—
完工総利益	15,676	14.0%	16,900	13.7%
営業利益	7,124	6.3%	7,700	6.3%
経常利益	7,914	7.1%	8,100	6.6%
当期純利益 ※	5,597	5.0%	5,700	4.6%
ROE	10.0%		9.5%	

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

【1】 2023年3月期 決算

1. 決算実績

2. 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase I (2020～2022年度) 成果

【2】 中期経営計画 SNK Vision 2030 Phase II (2023～2025年度)

【3】 2024年3月期 業績予想

【4】 配当予想



(単位：円)

		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 予想
年間配当金	第2四半期末	20	20	30
	期末	55	60	50
	合計	75	80	80
連結配当性向		32.3%	33.4%	32.8%
DOE（株主資本配当率）		4.1%	4.0%	3.7%

※2022年3月期 期末配当の内訳 特別配当 10円
 ※2023年3月期 期末配当の内訳 特別配当 5円

【免責事項】

ここに記載されている当社の財務状況、経営方針、計画、業績目標等のうち歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらはリスクや不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。

各種データ・資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

【お問い合わせ先】

新日本空調株式会社

経営企画室 企画・サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーション課 担当：福安麻美子

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号 浜町センタービル

TEL：03-3639-2701 FAX：03-3639-2731

Mail：fukuyasum@snk.co.jp

SUSTAINA-FULL!

エンジニアリングで、人と自然に満ちたりた調和を。



私たちが暮らす社会の持続には、
自然界とのベストバランスの
維持が欠かせません。
果てなきサステナブルへ。
SNKはエンジニアリングパワーで、
人と自然、社会と地球の
あるべき調和を追求します。

Fill your tomorrow

snk
新日本空調株式会社